<骨子>

働き盛り世代の健康経営プロモーション

令和3年度鹿角市政策研究所

はじめに

- ・市では、少子高齢化が進行する中で健康長寿社会の実現が求められている
- ・がんや脳血管疾患による死亡率が高く、生活習慣の改善による健康寿命の延伸が課題
- ・本市における健康寿命の延伸に寄与する方策を提言する

1 健康づくり運動と国の施策の動向

- ・国は、「健康日本21」を策定し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小の実現を目指している
 - ・県では、国の方針を踏まえ、「健康寿命日本一」を掲げてプロジェクトを展開している
- 市でも健康寿命を延ばすための取組をすすめている

2 鹿角市民の健康の現状と課題

- ・本市の平均寿命は、徐々に延びてきている
 - ・本市の標準化死亡比は、国及び県の平均より高い（男性は県内13市の中で最下位）
 - ・本市の健診受診率は目標に達していない
- 本市のがんや脳血管疾患による死亡率は全国でトップクラス
- 働き盛り世代（40代～50代）の受診率が低い

3 鹿角市民の運動実施状況と課題

- ・日頃から運動不足だと感じている市民が多い
 - ・国や県に比較して「運動習慣なし」の割合が大きい
- 働き盛り世代（40代～50代）の運動機会やスポーツに取り組む機会が少ない

4 先進地域における健康寿命延伸の取組事例

- ・健康ポイント、マイレージの活用
- ・民間活力、ノウハウの活用
- ・まちづくり、社会参画の促進
- ・ナッジ理論、ICTの活用

5 鹿角市における次世代ヘルスケアの可能性

- ・問題点は「生活習慣」にあり、働き盛り世代に対する健康インセンティブの強化が必要
- 生活習慣の改善（生活習慣病の予防）
- 生活習慣病の早期発見
- 自然に健康になれる環境づくりや、行動変容を促す仕掛けをICTや民間ノウハウの活用によって実現する